

平成29年度  
事業計画書および収支予算書

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

公益財団法人 上原記念生命科学財団

# 平成29年度事業計画書

当財団は昭和60年2月19日に財団法人として設立し、平成22年2月1日には公益財団法人に移行した。設立以来所有する大正製薬（現大正製薬ホールディングス）株式会社株式の配当収入を活用し着実に事業を推進して来た。

平成29年度は株式の配当金の増収を活用して助成事業を前年より強化し、わが国の企業をベースとする助成財団としては最大級の事業を行い、公益財団法人としての使命を果たしていく。

本年6月には、平成26年度からスタートした第9回特定研究助成「生体を見る・操る新技術の開発」の成果発表を兼ねて、国際シンポジウムを開催する。さらに本年度から新たに、3年間継続助成の第10回特定研究「脳—末梢連関による生体恒常性の維持とその破綻」を開始し、その募集を行う。

## 1. 生命科学に関する分野の研究に対する助成

(定款第5条第1項第1号)

### (1) 研究助成金の助成の対象および方法

生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する諸分野の研究の中から、重要性かつ将来性のあるものに、

(イ) 研究助成金（助成額1件500万円）

(ロ) 研究推進特別奨励金（中堅研究者対象、助成額1件400万円）

(ハ) 研究奨励金（若手研究者対象、助成額1件200万円）

として助成する。

### (2) 募集、選考等

(イ) 募集は、財団ホームページ等に公開した上、大学および研究機関の代表者に推薦を依頼する。

(ロ) 応募者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

### (3) 予算

助成件数220件以内を目途とし、予算7億6,000万円とする。

### (4) 特定研究助成

- (イ) 引続き研究成果の待たれる特定分野の研究に助成を行うこととし、本年度から第10回特定研究助成を実施する。
- (ロ) 助成の対象とする特定分野については、広く学識経験者の意見を徴し、これを参考にしてテーマ検討委員会に検討願った。その答申を受けて、「脳一末梢連関による生体恒常性の維持とその破綻」を助成対象とする。
- (ハ) 助成の方法は、1件当たりの金額を900万円か1,500万円とし、助成期間は3年とする（3年間分割交付）。
- (ニ) 募集・選考等の方法は研究助成金に準ずる。
- (ホ) 研究成果は当財団主催の国際シンポジウムにおいて発表する。
- (ヘ) 本年度（初年度）の予算は7,000万円とする。

## 2. 生命科学に関する分野の研究業績に対する褒賞

(同第2号)

### (1) 褒賞対象

生命科学に関する研究で顕著な業績をあげ、引続き活躍中の研究者を褒賞する。

### (2) 募集、選考等

(イ) 主要学会の代表者、当財団役員、評議員、諮問委員および既上原賞受賞者に候補者の推薦を依頼する。

(ロ) 候補者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

### (3) 予算

正賞金牌、副賞3,000万円（1件当たり）を贈呈する。

（今年度より副賞を2,000万円から3,000万円に増額する。）

褒賞件数2件以内とし、予算を6,300万円とする。

### 3. 生命科学に関する分野の研究者の派遣及び招聘並びにその助成 (同第3号)

#### (1) 助成対象

- (イ) 生命科学に関する分野の若手研究者で、海外留学を希望する者に留学資金を助成し、学術の国際交流に資する。
- (ロ) 生命科学に関する分野の海外の研究者で、わが国への留学を希望する者に対して、補助を行う。

#### (2) 募集、選考等

- (イ) 募集は、財団のホームページ等に公開した上、大学および研究機関の代表者に推薦を依頼する。
- (ロ) 応募者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

#### (3) 予算

助成等対象は150件以内を目途とし、予算を6億1,100万円とする。

### 4. 生命科学に関する分野の研究会、講演会及びシンポジウムの開催並びにその助成 (同第4号)

#### (1) 国際シンポジウムの開催

- (イ) 第9回特定研究の成果発表を兼ねて以下のように国際シンポジウムを実施する。

研究課題 「Make Life Visible」

開催時期 平成29年6月12日～14日

場 所 ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区）

- (ロ) 予算は5,000万円とする。

#### (2) シンポジウムの開催助成

##### (イ) 助成対象

生命科学に関する国際研究集会で、原則としてわが国で開催されるもの。

- (ロ) 募集、選考等

財団のホームページ等に公開して募集し、選考委員会で選考の上、理事会・評議員会で決定する。

(ハ) 原則として1件100万円以内とし、予算3,000万円とする。

## 5. 生命科学に関する分野の研究成果の刊行及びその助成 (同第5号)

### (1) 研究成果の刊行

(イ) 助成金に係る研究経過報告書を取りまとめて、「上原記念生命科学財団研究報告集」として刊行する。

(ロ) 上原賞受賞者講演録を作成する。

(ハ) 国際シンポジウムプロシーディングを刊行する。

(2) 予算は1,100万円とする。

## 6. その他財団の目的達成のために必要な事業 (第5条第3項)

(1) 機関誌を発行する。

(2) 国外で開催される国際学会に対し援助を行う。

(3) 助成金申請、研究報告集入稿に係るWebシステムの開発・管理及び申請書類の電子化保管等を行う。

(4) その他、理事会が必要と認めた事業を行う。

(5) 各種事業間の調節

前記の各事業の運営を円滑かつ効果的に行いうるようにするため、応募並びに選考状況を勘案し、理事長が必要と認めた場合はこの予算の中から追加支出する。

(6) この予算は2,000万円とする。

## 7. その他

助成金等の募集方法、募集人員、募集時期、推薦依頼に関する事項及び交付金額等、交付対象者選出のため必要な事項の細目については、5月に開催する理事会で決定する。

# 事業計画概要一覧

	平成29年度計画	前年度計画
定款第5条第1項第1号 研究助成	研究助成金 1件500万円 100件 研究推進特別奨励金 1件400万円 10件 研究奨励金 1件200万円 110件 総予算 7億6,000万円	研究助成金 1件500万円 90件 研究推進特別奨励金 1件400万円 10件 研究奨励金 1件200万円 90件 総予算 6億7,000万円
	第10回特定研究助成金(1年度) 500万円×5件、300万円×15件 予算 7,000万円	第9回特定研究助成金(3年度) 500万円×6件、300万円×13件 予算 6,900万円
同第2号 研究業績褒賞	正賞：金牌 副賞：3,000万円(1件当たり) 対象：2件 総予算 6,300万円	正賞：金牌 副賞：2,000万円(1件当たり) 対象：2件 総予算 4,300万円
同第3号 派遣及び招聘の 助成	(1)若手研究者の海外留学助成 リサーチフェローシップ 90件 ポストドクトラルフェローシップ 50件 予算 5億7,500万円 (2)海外研究者のわが国への留学補助 月15万円×24ヵ月×10件 予算 3,600万円 総予算 6億1,100万円	(1)若手研究者の海外留学助成 リサーチフェローシップ 80件 ポストドクトラルフェローシップ 40件 予算 4億3,100万円 (2)海外研究者のわが国への留学補助 月15万円×24ヵ月×10件 予算 3,600万円 総予算 4億6,700万円
同第4号 研究会・シンポジウム の開催及び助成	(1)国際シンポジウムの開催等 予算 5,000万円 (2)助成(100万円×30件) 予算 3,000万円 総予算 8,000万円	(1)研究会の開催・国際シンポジウムの 準備(中間報告会開催等) 予算 500万円 (2)助成(100万円×30件) 予算 3,000万円 総予算 3,500万円
同第5号 研究成果の刊行	研究成果の刊行 (国際シンポジウムポスターリングを含む) 予算 1,100万円	研究成果の刊行 予算 700万円
第5条第3項 その他	(1)機関誌発行、Webシステム運営等 申請書類の電子化保管等 (2)国外で開催される国際学会への援助 100万円(または1万米ドル)×3件 総予算 2,000万円	(1)機関誌発行、Webシステム運営等 (2)国外で開催される国際学会への援助 100万円(または1万米ドル)×3件 総予算 1,800万円
その他事業費	贈呈式、助成者交通費、謝金、広告等 総予算 3,900万円	贈呈式、助成者交通費、謝金、広告等 総予算 3,900万円

# 収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 ①	法人会計 ②	合 計 (①+②)	平成28年度 予算	備 考
<b>I.一般正味財産増減の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 運用益					
基本財産運用益	1,518,300	132,000	1,650,300	1,292,000	
(基本財産受取配当)	(1,518,000)	(132,000)	(1,650,000)	(1,290,000)	大正製薬ホールディングス株式配当 1株110円(前年度100円)
(基本財産受取利息)	(300)	(0)	(300)	(2,000)	運用利回り低下
特定資産運用益	80	0	80	200	
(研究助成事業基金受取利息)	(40)	(0)	(40)	(100)	
(海外留学助成事業基金受取利息)	(40)	(0)	(40)	(100)	
② 雑収益(受取利息)	70	0	70	100	
経常収益計	1,518,450	132,000	1,650,450	1,292,300	
(2) 経常費用					
① 事業費					
研究助成金(定款第5条第1項第1号)	830,000	0	830,000	739,000	
(研究助成)	(760,000)	(0)	(760,000)	(670,000)	研究助成金、研究推進特別奨励 金及び研究奨励金
(特定研究助成)	(70,000)	(0)	(70,000)	(69,000)	
研究業績褒賞(同第2号)	63,000	0	63,000	43,000	上原賞2件を予定
研究者の派遣・招聘(同第3号)	611,000	0	611,000	467,000	海外留学助成金及び来日研究 生助成金
研究会開催・シンポジウム助成(同第4号)	80,000	0	80,000	42,000	
(研究会委託費)	(50,000)	(0)	(50,000)	(12,000)	国際シンポジウム開催
(シンポジウム開催助成)	(30,000)	(0)	(30,000)	(30,000)	
研究成果の刊行(同条第5号)	11,000	0	11,000	7,000	研究報告集、上原賞講演録、国 際シンポジウムプロシーディング
その他(第5条第3項)	20,000	0	20,000	18,000	機関誌発行、その他
(機関誌発行)	(5,000)	(0)	(5,000)	(5,000)	
(国際学会援助)	(4,000)	(0)	(4,000)	(4,000)	
(その他)	(11,000)	(0)	(11,000)	(9,000)	Webシステムの開発・管理、申請 書類の電子化保管
その他事業費	39,000	0	39,000	39,000	
(贈呈式委託費)	(11,000)	(0)	(11,000)	(11,000)	
(被助成者旅費交通費)	(10,000)	(0)	(10,000)	(10,000)	被助成者の贈呈式出席費用
(選考委員旅費交通費)	(3,000)	(0)	(3,000)	(3,000)	選考委員会出席費用
(委員への謝金)	(11,000)	(0)	(11,000)	(11,000)	選考委員審査料等
(印刷製本費)	(2,000)	(0)	(2,000)	(2,000)	
(広告費)	(2,000)	(0)	(2,000)	(2,000)	募集・贈呈者広告
事業費計	1,654,000	0	1,654,000	1,355,000	

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 ①	法人会計 ②	合 計 (①+②)	平成28年度 予算	備 考
②管理費					
役員報酬	0	2,000	2,000	2,000	
人件費	0	64,000	64,000	64,000	
(給料手当)	(0)	(55,000)	(55,000)	(55,000)	
(福利厚生費)	(0)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	
旅費交通費	0	2,000	2,000	2,000	理事会、評議員会旅費交通費
会議費	0	1,000	1,000	1,000	
通信運搬費	0	2,000	2,000	2,000	
賃借料	0	5,000	5,000	5,000	事務室賃借料、機器リース料
光熱水料費	0	1,000	1,000	1,000	
消耗什器備品費	0	2,000	2,000	2,000	
雑費	0	7,000	7,000	7,000	
管理費計	0	86,000	86,000	86,000	
経常費用	1,654,000	86,000	1,740,000	1,441,000	
当期経常増減額	▲ 135,550	46,000	▲ 89,550	▲ 148,700	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 135,550	46,000	▲ 89,550	▲ 148,700	
一般正味財産期首残高	1,239,027	190,003	1,429,030	1,556,010	
一般正味財産期末残高	1,103,477	236,003	1,339,480	1,407,310	
II. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	18,732,000	0	18,732,000	0	
指定正味財産期首残高	107,414,000	10,704,000	118,118,000	118,376,000	
指定正味財産期末残高	126,146,000	10,704,000	136,850,000	118,376,000	
III. 正味財産期末残高	127,249,477	10,940,003	138,189,480	119,758,310	





## 資金調達及び設備投資の見込みについて

### (1) 資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定 …… なし

### (2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定  
… なし  
以上